

～新渡戸記念の～

『言葉の院外処方箋』

新渡戸稲造記念センター 長 樋野興夫

第1回 「人生いばらの道、されど宴会」

私にとって、「人生いばらの道、されど宴会」^{*1}は、人生の基軸である。「心がけにより 逆境も 順境とされる」^{*2}、「全力を尽くして、あとのことは 心の中で そっと心配すれば 良いのではないか。 どうせ なるようにしかならないよ！」^{*3}の実践でもある。これが、「がん哲学外来」での、多数の患者さん、ご家族からの学びである。「悩む者には 毎日が不吉の日であるが、心に楽しみのある人には 毎日が宴会である。」^{*4}が、「人生いばらの道、されど宴会」の原典であろう。

出典

- *1 『いい覚悟で生きる』小学館 14 ページ & 『人生を変える 言葉の処方箋』日めくり 9
- *2 新渡戸稲造：1862-1933。
- *3 勝海舟：1823-1899。
- *4 旧約聖書 箴言 15章15節